

# ボランティア通信 第6号

発行日 平成23年12月15日  
発行 ボランティア委員会広報係

国立病院機構新潟病院  
連絡先は末尾



## 平成23年8月3日 中学生、高校生のボランティア体験と病院見学会 ～ オープンホスピタル ～

新潟病院には治療が難しい病気や重い障害の患者さんが治療やリハビリ、療養を行っています。同時に病院では多くのボランティアさんが活動され、患者さんの暮らしを支えてくださっています。今回初めての行事として、8月3日に市内の中学生・高校生を対象にした『「ボランティア体験と病院見学会」～オープンホスピタル～』を開催しました。医療の仕事に興味のある、中学生2名高校生4名の参加があり、新潟病院のボランティア活動の様子と病院内の各職場を見学しました。参加者からは「普段見ることのない医療機器を見ることができて楽しかった。」「看護学校で勉強したいと思った。」「看護師さんと一緒に仕事をしてみたいと感じた。」等の感想が聞かれました。今回の行事を通してボランティア活動や入院療養生活を送る患者さん、病院で働く職種について知ったり、理解を深めることができれば有り難く思います。今後もボランティア活動の充実のために、病院全体で取り組んでいきたいと考えます。



薬剤科  
最新の機器を使った調剤の様子を見学



看護学校  
人間どっくりの人形での看護実習の様子を体験



### 平成23年度活動報告

#### ボランティア委員会の活動

- 5月31日 ボランティア委員会
- 8月 3日 オープンホスピタル
- 9月28日 ボランティア通信発行
- 10月26日 オータムコンサート
- 10月30日 ジャズコンサート

### 今後の予定

- ボランティア通信発行(6号・7号)
- 平成24年2月29日(水)  
「ボランティア感謝の集い」  
ボランティアさんとの懇親を深めます

### お知らせ

活動病棟にボランティアさんの名札、日誌を設置しました。

活動の際は病棟職員にひと声掛けて、名札を付けて活動してください。



平成23年10月26日 療育棟ホールにて  
クラリネット、チェロ、ピアノ三重奏による  
～オータムコンサートを開催～



ピアノ三重奏に参加して

10病棟 看護師長 百崎 美和子

ボランティア委員会で活動企画の話があり、私は高校の同級生でプロの方にクラリネットを習っている友人の顔が思い浮かびました。軽い気持ちで、「ボランティアとしてうちの病院で演奏してみない」と声をかけたところ友人は、「障害を持った方々には最高のものに触れて頂くのがいい」と言い、先生に話をしてくれました。先生は快諾してくださり、今回のピアノ三重奏が実現しました。当日はマイクなしの生演奏にうっとりしている患者さんや涙を浮かべている患者さんを目にして本当に喜んで頂いたと思いました。また友人は、一般のコンサート会場より皆様のマナーがよかったこと、すばらしい雰囲気に感動したと話してくれました。

今後は恒例となる様ですのでご期待！

先生からは、ベットを離れることが出来ない方々のために「病棟で演奏もやりますよ」と言って下さいましたので今後は、もっと楽しみです。以下先生のプロフィールをご紹介します。



左藤博之 クラリネット

17歳よりクラリネットを始める。北海道教育大学芸術文化過程卒業。尚美学園ディプロマコース終了。S-muzik主宰。

久保公人 チェロ

東京藝術大学音楽学部卒業。

菊池知也、庭野隆之、三木敬之、渡部 浩各氏に師事。

2008年日本フィルハーモニー交響楽団入団。

板谷 潔 ピアノ

東京音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。菊池麗子氏に師事。

現在さいたま市にてピアノ教室ぴぶらを主宰。



ボランティア募集



問い合わせ先 (担当吉田)  
新潟病院ボランティア委員会

電話 0257-22-2126 (代)

FAX 0257-24-9812

E-mail: sodan@niigata-nh.go.jp (医療連携相談室)

sidositu@niigata-nh.go.jp (療育指導室)

